

# 1 公共施設の更新案について

第1回最適化委員会の結果により、旧耐震基準の施設で市民の利用頻度が多い施設を優先的に更新することになりました

旧耐震基準の建物は、耐震性に問題があれば大地震で倒壊する可能性が高い

旧耐震基準（昭和56年5月まで）：震度5強でも倒壊しないまたは補修すれば再利用可能な建物

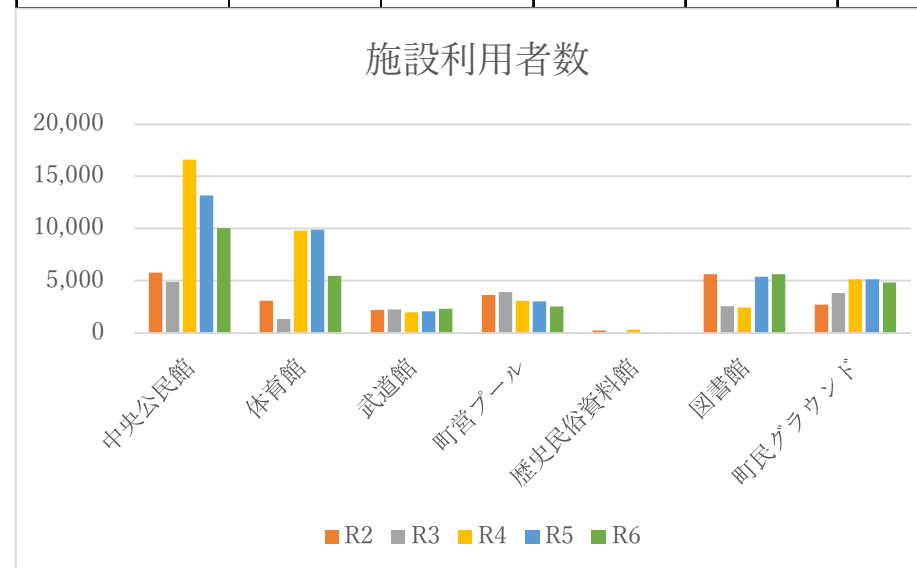
新耐震基準（昭和56年6月以降）：震度6強でも耐えられる建物

福島地方気象台の情報では、大正12年から  
県内で震度5(弱)以上を観測した地震の回数67回

今回の委員会は、浅川小学校と浅川町役場・公民館の更新を軸に下記の施設の再利用を考えて見ました

	施設	避難所指定状況	建築年月日	主な構造	築年数
1	浅川町役場	災害対策本部	S34.9.11	木造	66
2	浅川小学校 体育館	指定避難所	S41.3.1	鉄骨造	60
3	町営プール		S43.7.1	鉄筋コンクリート	57
4	浅川小学校 北校舎	指定避難所	S45.3.1	鉄筋コンクリート	56
5	中央公民館		S46.5.30	鉄骨造	54
6	町民体育館		S51.12.15	鉄骨鉄筋コンクリート	49
7	浅川小学校 南校舎	指定避難所	S58.2.1	鉄筋コンクリート	43
8	浅川小学校 プール		S57.8		43
9	歴史民俗資料館		S59.3.31	鉄骨造	42
10	浅川町立あさかわ図書館		H11.1.4	鉄筋コンクリート	27
11	浅川中学校 体育館	避難所の指定	S55.11.1	鉄骨造	45
12	浅川中学校 プール		S56.8		44

施設利用状況	(人数)				
	R2	R3	R4	R5	R6
中央公民館	5,787	4,899	16,587	13,164	10,053
体育館	3,071	1,338	9,804	9,901	5,478
武道館	2,177	2,248	1,983	2,058	2,304
町営プール	3,627	3,904	3,085	3,035	2,523
歴史民俗資料館	221	23	308	50	53
図書館	5,625	2,571	2,434	5,379	5,626
町民グラウンド	2,728	3,815	5,136	5,136	4,844



## 2 中学校周辺の公共施設の現状

周辺の公共施設の現状（役場・公民館以外）

施設	建築年月日	主な構造	経過年数	施設の状況
町営プール	S43.7.1	鉄筋コンクリート	57	プールサイド、機械設備老朽化
町民体育館	S51.12.15	鉄骨鉄筋コンクリート	49	耐震性に問題あり。雨漏りも
歴史民俗資料館	S59.3.31	鉄骨造	42	外壁にクラック
浅川町武道館	H11.3.25	鉄骨鉄筋コンクリート	27	雨の降り方により雨漏り



町営プールの状況

防水シートが劣化により一部剥がれ基礎の部分にもひび割れ  
循環系機械の故障が多く修繕工事を実施しているが、老朽化が進んでおりトラブルも多い



町民体育館は耐震診断で問題ありと診断

R7年度に改修工事を予定したが、民家が隣接しているため通常の耐震工事が実施できず、設計段階で改修費用がかなり高額になると判明。このため、改修はせずに時期は未定で新築すると判断された。



歴史民俗資料館は、展示品の劣化を防ぐため、展示室は外光が差さないよう窓がなく換気ができない。外壁にも数箇所ひび割れあり

武道館は町の避難所に指定されている。

### 3 役場・公民館移転後の中学校周辺の利用イメージ



現状	将来構想	理由
歴史民俗資料館	児童館	資料館を児童館に改築。資料は浅川小学校改築後の複合施設に移動。 中学校脇に小学校を移設した場合、放課後児童クラブを運営できる空き教室がないため。 浅川小学校では、小学校北校舎の空き教室3クラスを利用し放課後児童クラブ運営中。 (全校生235名中の1~6年生145名の約62%が利用)
町民体育館 中央公民館	防災公園	町民体育館と中央公民館を解体し、周辺を防災公園に整備。 児童館の利用者は公園で遊ぶこともでき、大規模災害発生時は仮設住宅の設置場所にも利用。東側には町の備蓄倉庫、南側には町指定避難所の武道館もあるため、周辺一帯を大規模避難所として活用できる。
役場駐車場	町民体育館	役場駐車場に新築することができれば学校から近いため、小中学校の第二体育館としても活用できる。
浅川町役場	駐車場	防災公園・体育館などの駐車場に整備。

## 4 浅川小学校から浅川町複合施設へ



浅川小学校の耐震診断結果速報では耐震性に問題ないと判定されました。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新築で複合施設を建築するより、はるかに安価</li> <li>• すべて町の土地。新たに土地を探さなくてよい</li> <li>• 役場、公民館機能に加え、歴史民俗資料館、図書館機能もある複合施設とすれば施設利用者も多くなり、新たな人流ができ町の拠点として駅前活性化を期待できる</li> <li>• 校庭を駐車場として確保でき、イベント会場など多様な利用が期待できる</li> <li>• 浅川小学校北校舎を解体すれば、県道の日当たりも良くなり、降雪時の凍結が改善される。県道の拡幅要望もできる</li> <li>• 学校周辺は、郵便局、金融機関などがあり、駅前通りが国道 118 号まで道が抜けたことにより国道までのアクセスがよくなり、国道沿いには大型店舗が複数ある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 南校舎は築 40 年越え。改修工事で建物寿命の延命はできるが、新築より建物寿命は短い</li> <li>• 造りが学校のため、大規模な改修工事が必要</li> <li>• 耐震性の問題から壁が抜けない箇所もある。エレベータ設置も必須</li> <li>• 増築する場合は、現行の法令等の基準に則する必要があるため大規模改修工事が必要になる</li> <li>• 同一施設に複数の機能を有するため、行政・公民館機能などの明確なゾーン分けが必要</li> <li>• 役場、公民館、図書館、歴史民俗資料館の 4 機能を集約するには、南校舎のみでは床面積が足りない</li> <li>• 浅川小学校周辺は狭い道路で囲まれている</li> </ul>

## 施設に求める要件（案）

- 災害に強く、防災機能を有する安全・安心な施設とし、震度 6 強の地震でも大きな損傷を受けずに機能を維持することができる。
- 町の災害対策本部と住民の避難所としての機能も備える強固な施設とする。
- 機能ごとにゾーンを設定し、それぞれ単独利用が可能とする。
- 高齢者や障がい者をはじめ誰もが訪れやすく、車イスで各フロアを利用できる広いスペースの確保。
- 災害に備えた非常用発電機や太陽光発電等、施設単独で利用できるバックアップエネルギーの確保。
- 省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指す ZEB 化の推進（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）
- FreeWi-Fi 整備等の ICT 設備。個人利用可能なテレワークスペースの設置。
- PPP や PFI の導入の検討。

## 行政ゾーン

- オープンスペースとし職員のコミュニケーションの活性化を図る。
- 個別の相談スペースの設置及び行政執務スペースに、打ち合わせなど多様な使い方ができるミーティングコーナーを設ける。
- 執務室の床下にケーブル配線用の隙間を設けた二重床のフリーアクセスフロアとする。
- 国、県や町内関係機関と連携がとれるよう防災情報システムや情報通信設備を備えた災害対策本部機能がある対策室の設置。普段は会議室としても利用可能とする。

## 公民館ゾーン

- 様々なイベントで使用できるステージがある大ホールの設置。災害時には避難所として利用可能な大きさがあること。
- 町民誰もが自由に利用できるフリースペースを設ける。

## 駐車場、外構

- 複合施設になるため、十分な駐車場の確保。
- 大型バスが侵入できる道路。
- 野外イベントの会場としても利用可能とする。
- EV 充電スタンドの設置。



## 5 浅川小学校及び周辺利用イメージと課題



- 浅川小学校校庭の面積約 5,600 m<sup>2</sup>
- 役場駐車場約 4,180 m<sup>2</sup> 中央公民館駐車場約 1,790 m<sup>2</sup> 合計 5,970 m<sup>2</sup>  
体育館とプールを解体すれば駐車场面積は足りる。また、磐城浅川駅前の北側からの進入路が確保でき、駅からも直接アクセスできる。
- 北校舎の教室棟は、解体し複合施設駐車場（主に公用車）に利用する。

### 課題

- 北校舎の特別教室棟は南校舎と同時期に建設。南校舎を複合施設として役場・公民館・図書館・歴史民俗資料館の4機能をまとめると、前頁の利用イメージからも施設面積が足りないため、北校舎特別教室棟の再利用も検討。ただし、県道の拡幅要望に影響あり。
- 小学校周辺の道路は狭く拡幅を考えると、民家や店舗の保障が必要になり費用が掛かる。

## 6 公共施設の利用方針のまとめ

	現状の施設	築年数		今後の方針 案		更新後の施設 案
1	浅川中学校西側			小学校建築		新・浅川小学校
2	浅川小学校 南校舎	43		複合施設に改修 役場、公民館、図書館、歴史民俗資料館を集約		複合施設
3	歴史民俗資料館	42		放課後児童クラブの施設として改築。機能は複合施設に集約		児童館
4	浅川中学校 体育館	45		小・中学校生が使用できるよう改修		浅川小・中学校の体育館
5	浅川中学校 プール	44		当面現状で利用。将来は屋内プールに新築も検討		町営プール
6	町民体育館	49		公民館解体時に合わせて解体		防災公園
7	中央公民館	54		機能移転後に解体		防災公園
8	役場駐車場			町民体育館 新築候補地		町民体育館 (小中学校の第2体育館)
9	浅川小学校 北校舎	56		小学校移転後は解体		駐車場
10	浅川小学校 体育館	60		浅川小学校移転後、旧耐震のため時期を検討し解体		駐車場
11	浅川小学校 プール	43		浅川小学校移転後、解体		駐車場
12	町営プール	57		中学校のプール改修まで利用し、その後解体		駐車場
13	浅川町役場	66		移転後に解体		駐車場
14	あさかわ図書館	27		複合施設に集約		施設は再利用
15	旧山白石小学校	52		旧耐震の建物。雨漏りもしており老朽化のため解体		
16	旧里白石小学校	49		旧耐震の建物。雨漏りもしており老朽化のため解体		

※旧山白石・里白石小学校は早期に解体すれば、国の起債事業を利用でき財政負担を軽減できるので追加しました。

7 施設更新に掛かる費用見込み 財政負担を極力縮小した場合 合計 41.5 億円

施設	構造	延床面積	更新内容	費用見込み 床面積×単価	備考
浅川小学校	RC		新築	11.5 億	義務教育学校として建築でき補助金が交付されれば 1/2 の金額で建築可能
複合施設 (浅川小学南校舎改築)	RC	2,628 ㎡	改修	9.2 億	集約機能：役場、公民館、歴史民俗資料館、図書館 単価 350,000 円/㎡ ※1
児童館 (歴史民俗資料館)	S	383 ㎡	改修	1.3 億	単価 350,000 円/㎡
中学校体育館	S	1,372 ㎡	改修	4.8 億	単価 350,000 円/㎡
浅川中学校プール 25×15m		想定 900 ㎡	-	-	当面の間小学生用の高さ調整用の台を使用し、改築費用をかけない 町営プールとして屋内プールにする場合は 5.7 億円
町民体育館 (現在の体育館と同規模を想定)	SRC	1,671 ㎡	新築	10.6 億	単価 635,000 円/㎡
浅川小学校体育館	S	759 ㎡	解体	0.8 億	単価 106,680 円/㎡
浅川小学校プール 25×15m		想定 900 ㎡	解体	0.4 億	単価 44,450 円/㎡
町営プール 25×15m 幼児用プール		想定 1,500 ㎡	解体	0.7 億	使用できる限界まで利用 単価 44,450 円/㎡
浅川小学校北校舎	RC	1,480 ㎡	解体	1.3 億	北校舎教室棟 876 ㎡ 特別教室棟 604 ㎡ 単価 88,900 円/㎡
浅川町役場	W	1,396 ㎡	解体	1.2 億	単価 88,900 円/㎡
中央公民館	S	1,000 ㎡	解体	0.9 億	単価 88,900 円/㎡
旧山白石小学校	RC	1,600 ㎡	解体	1.4 億	単価 88,900 円/㎡
旧里白石小学校	RC	1,614 ㎡	解体	1.4 億	単価 88,900 円/㎡
浅川町民体育館	SRC	1,671 ㎡	解体	1.8 億	単価 106,680 円/㎡

※単価設定については設計事務所に依頼し設定。(費用見込みは工事費用のみ)

※1 その他の整備費用(埴町参考) 情報関係機器(職員が使用している PC)4,600 万円 防災機器移転 2,100 万円 固定電話 1,300 万円 光ファイバ引込工事 3,000 万円  
警備システム、引っ越し費用は別途

施設更新に掛かる費用見込み 施設を新築した場合 合計 70.0 億円

施設	構造	延床面積	更新内容	費用見込み 床面積×単価	備考
浅川小学校	RC	2,000 m <sup>2</sup>	新築	11.5 億	現在の小学校南校舎の 13 教室から 8 教室（各学年 1 教室、特別支援学級 2 教室）にし家庭科室、図工室を除いた床面積を設定。単価 575,000 円/m <sup>2</sup>
複合施設	RC	2,628 m <sup>2</sup>	新築	15.1 億	集約機能：役場、公民館、歴史民俗資料館、図書館 単価 575,000 円/m <sup>2</sup>
児童館 (歴史民俗資料館)	S	383 m <sup>2</sup>	新築	2.2 億	単価 575,000 円/m <sup>2</sup>
中学校体育館	S	1,372 m <sup>2</sup>	新築	8.7 億	単価 635,000 円/m <sup>2</sup>
浅川中学校プール 25×15m		想定 900 m <sup>2</sup>	新築	5.7 億	屋内プールを想定 単価 633,000 円/m <sup>2</sup>
町民体育館 (現在の体育館と同規模を想定)	SRC	1,671 m <sup>2</sup>	新築	10.6 億	単価 635,000 円/m <sup>2</sup>
浅川小学校体育館	S	759 m <sup>2</sup>	解体	0.8 億	単価 106,680 円/m <sup>2</sup>
浅川小学校プール 25×15m		想定 900 m <sup>2</sup>	解体	0.4 億	単価 44,450 円/m <sup>2</sup>
町営プール 25×15m 幼児用プール		想定 1,500 m <sup>2</sup>	解体	0.7 億	単価 44,450 円/m <sup>2</sup>
浅川小学校北校舎全部	RC	1,480 m <sup>2</sup>	解体	1.3 億	単価 88,900 円/m <sup>2</sup>
浅川町役場	W	1,396 m <sup>2</sup>	解体	1.2 億	単価 88,900 円/m <sup>2</sup>
中央公民館	S	1,000 m <sup>2</sup>	解体	0.9 億	単価 88,900 円/m <sup>2</sup>
旧山白石小学校	RC	1,600 m <sup>2</sup>	解体	1.4 億	単価 88,900 円/m <sup>2</sup>
旧里白石小学校	RC	1,614 m <sup>2</sup>	解体	1.4 億	単価 88,900 円/m <sup>2</sup>
浅川町民体育館	SRC	1,671 m <sup>2</sup>	解体	1.8 億	単価 106,680 円/m <sup>2</sup>
浅川小学南校舎	RC	2,628 m <sup>2</sup>	解体	2.3 億	単価 88,900 円/m <sup>2</sup>
歴史民俗資料館	S	383 m <sup>2</sup>	解体	0.3 億	単価 88,900 円/m <sup>2</sup>
中学校体育館	S	1,372 m <sup>2</sup>	解体	1.5 億	単価 106,680 円/m <sup>2</sup>
浅川中学校プール 25×15m		想定 900 m <sup>2</sup>	解体	0.4 億	単価 44,450 円/m <sup>2</sup>
町民体育館	SRC	1,671 m <sup>2</sup>	解体	1.8 億	単価 106,680 円/m <sup>2</sup>

新築更新になるため、既存施設の解体費用がプラスになります

## 8 公共施設の ZEB 化

### ZEB の定義

「先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制や自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物」と定義。

ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）

2023 年 10 月 12 日、江田町長が 2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を町民や事業者、関係団体の皆様と共に「オールあさかわ」で挑戦することを宣言。このことから町が率先して取り組む必要があります。

### 現状

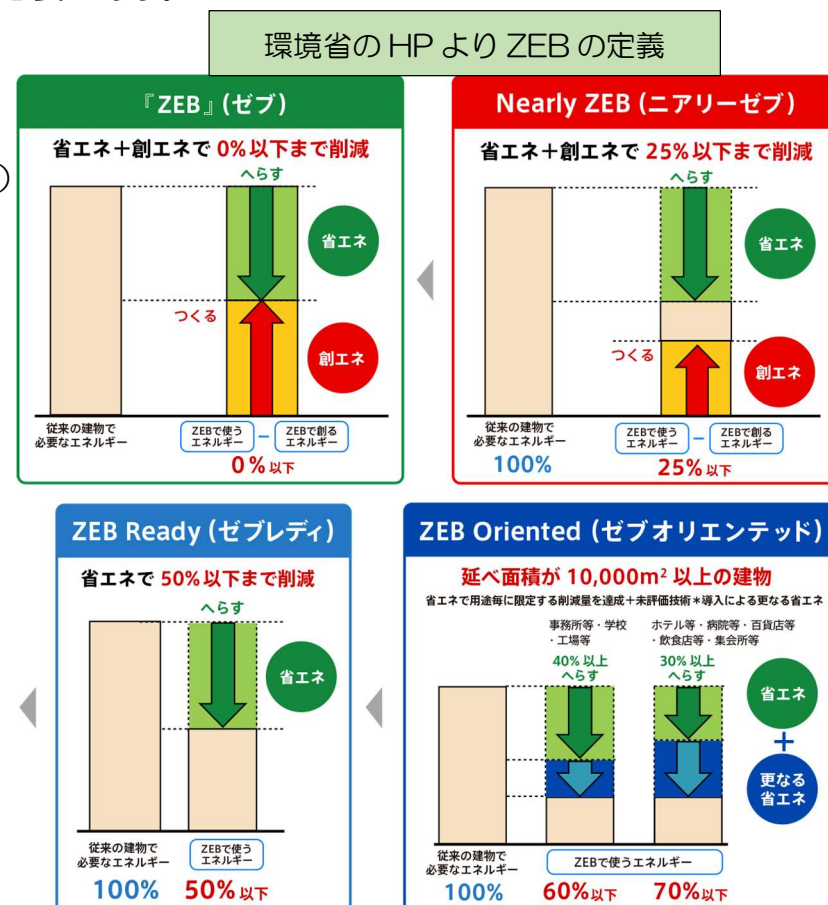
- 浅川町の公共施設の多くは、蛍光灯や水銀灯を使用。  
(蛍光灯の製造と輸出入が 2027 年末までにすべて禁止。水銀灯は 2021 年生産中止)
- 太陽光パネルなどの再生可能エネルギーを利用している施設も少ない。(4 施設)  
浅川町武道館、保健センター、浅川町地域福祉センター（災害時の非常用電源）  
浅川中学校

### 今後

公共施設を更新する際には、積極的に ZEB 化を推進します。

今回、最適化委員会で優先的に更新を考えていない施設も、照明の LED 化や施設に問題なければ太陽光パネルの設置など、再生可能エネルギーの利用を考える必要がある。

保健センター	太陽光パネルの設置
あさかわこども園	太陽光パネルの設置
武道館	照明 LED 化 太陽光パネルの設置
町民グラウンド	照明 LED 化



\*WEBPRO において現時点で評価されていない技術